

雲南圏域(林業)プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成24年度)

達成状況判断基準: 100%以上→「達成」、80%以上100%未満→「概ね達成」、80%未満→「未達成」

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率				達成状況	
			項目名	H24目標	H24実績	単位		達成率
雲南-1	雲南の木増産プロジェクト	<p>○雲南圏域全体及び木材生産団地内の木材生産についてはほぼ目標を達成。</p> <p>○3森林組合の木材生産量についてもおおむね目標達成。</p> <p>○提案型集約化施業の実施箇所、面積についてもほぼ目標を達成。</p> <p>○森林組作業員の月給制などを導入し、積極的に提案型集約化施業を進めている大田市森林組合を視察し意見交換等を実施し、組織の見直しや提案書等について検討した。</p> <p>○また、森林組合の各地区委員会で森林経営計画策定について説明し、森林の施業プランナー研修にも各森林組合から参加した。</p> <p>○コスト分析については、各組合ごとに適したコスト分析表を検討、作成する前段として実施済みの利用間伐や主伐の実績を既存の他組合のコスト分析表により現状分析を進めた。</p> <p>○効率的で現地に適した路網整備や作業システム等の改善のため路網設計研修や作設研修を実施した。</p>	雲南圏域全体の木材生産量(木材生産団地内)	60,500 (45,700)	57,500 (43,500)	m3	95% (95%)	概ね達成
			うち雲南圏域3森林組合の木材生産量	38,500	35,500	m3	92%	概ね達成
			提案型集約化施業の実施箇所数<累計>(実施面積)	16 (210)	15 (176)	箇所	94% (84%)	概ね達成
雲南-2	雲南の木活用促進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・製材所への原木直送量については新たな木材市場の仲介システムにより目標以上の達成。 ・乾燥材製品出荷量については目標の66%の実績となったが、今後は特に飯石森林組合の乾燥機導入により対応を強化する予定。 ・原木集出荷体制の構築では雲南市内にストックヤード(燃料用原木主体)が4カ所整備され、A材選別の場としての活用も検討がなされている。 ・出雲木材市場の仲介による製材工場への原木直送についても関係者で検討がなされ、飯石森林組合の原木が製材所へ直送された。 ・飯南町で公共建築物等木材利用基本方針が策定され、雲南市でも本年度の策定見込み。また、県公共施設(駐在所等)の木造建設について農林、県土、設計事務所、木材協会ですり協議を実施。設計事務所から杉の床取り扱いマニュアルの作成など積極的な提案があった。 ・顔の見える木材での家づくりを推進するため「雲南地域豊かな住まい推進協議会(仮称)」の設立準備が進められており、「うんなんの家」開発プロジェクト(仮称)など事業計画の具体化を目指している。 	製材所への原木直送量	3,917	4,126	m3	105%	達成
			乾燥材製品出荷量	624	414	m3	66%	未達成
雲南-3	奥出雲キノコの里づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・主要菌床キノコ及び加工品売上高は目標以上の達成。 ・(有)奥出雲椎茸の新種菌の開発について、2番目の品種「雲太-2号」の栽培試験を実施し、結果良好を踏まえ品種登録出願され、受理公表された。 ・また品種登録出願公表済みの「雲太-1号」は、直営ハウスでの試験栽培から出荷を目的とする本格栽培に移行した。 ・菌床しいたけの担い手の確保について、随時新規参入者を募集し、雲南市で1名確保(休止ハウス1棟利用)。他にも生産農家1件の後継者を確保した。また、生産者が閉鎖予定のハウス4棟を(有)奥出雲椎茸の直営化とした。 ・多様なキノコ生産について、美味しませね認証の更新、マスコミ宣伝の効果的实施などで奥出雲ブランドのPR体制が強化された。また、(有)奥出雲椎茸は、当面イベント等での販売促進活動に活用する目的で、「椎茸昆布茶」や「しいたけカレー」などしいたけ加工品を開発した。 	主要菌床キノコ及び加工品売り上げ高	1,117,660	1,302,920	千円	117%	達成